

あなたと市政をむすぶ



# かんおんじ

2018 / 平成30年

11 November

秋を楽しもう。

(関連記事12ページ)

## 目次

- 平成29年度の決算……………2～5
- 個人住民税の特別徴収(給与天引き)を徹底します……………6
- 新婚生活のスタートを支援します(結婚新生活支援補助金) ……9



### 特別会計

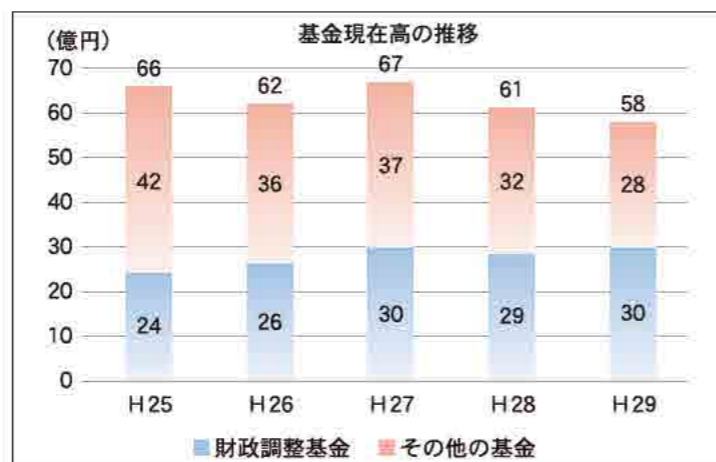
特別会計とは、特定の目的のために設置し、一般会計とは区分して経理する会計のことです。国民健康保険や公共下水道など10の特別会計があり、それぞれ保険料や使用料などの特定の収入で事業を行っています。平成29年度は、全ての会計で黒字決算でした。

特別会計名	収入額A	支出額B	差引額A-B
施設貸付事業	1億1,218万円	9,335万円	1,883万円
国民健康保険事業	86億4,988万円	86億4,182万円	806万円
国民健康保険伊吹診療所	5,735万円	5,473万円	262万円
後期高齢者医療事業	8億9,066万円	8億8,997万円	69万円
介護保険事業	57億9,674万円	56億9,618万円	1億56万円
航路事業	1億5,492万円	1億2,457万円	3,035万円
粟井財産区	792万円	68万円	724万円
粟井坂瀬山林	1,476万円	36万円	1,440万円
公共下水道事業	17億5,874万円	14億7,076万円	2億8,798万円
農業集落排水事業	4,519万円	3,998万円	521万円

### 基金現在高(一般会計)

基金は、家計における貯金です。基金には、年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金や特定の目的のために積み立てている特定目的基金などがあります。

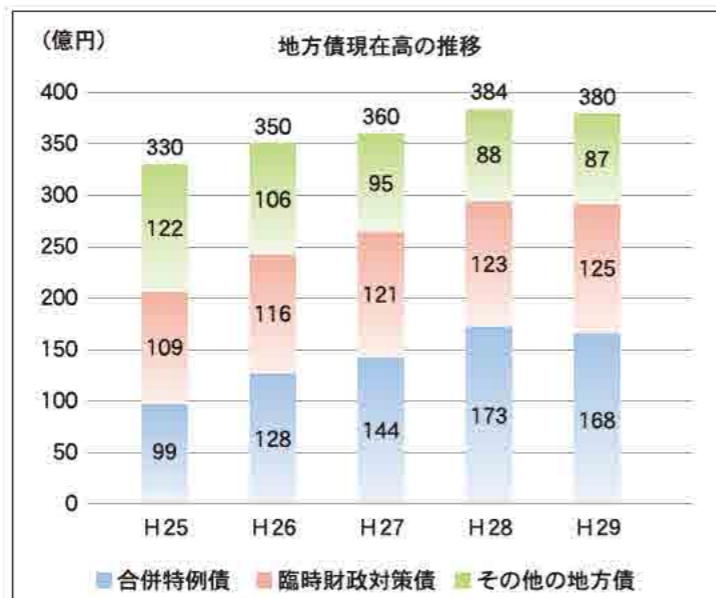
平成29年度末の基金現在高は58億円で、前年度末より約3億円減少しています。



### 地方債現在高(一般会計)

平成29年度末の地方債現在高は約380億円で、前年度より約4億円減少しています。

現在高の内訳は、臨時財政対策債や合併特例債などの交付税算入の大きい地方債が大部分を占めており、これらを除く地方債現在高は、約1億円減少しています。



#### 臨時財政対策債とは

国から交付される地方交付税の不足分を補うために、地方公共団体が発行する地方債です。償還額の全額が後年度の地方交付税に算入されます。

#### 合併特例債とは

合併後の市町村の一体性の確立や均衡ある発展などを目的とした事業を実施するために発行する地方債です。元利償還額の70%が後年度の地方交付税に算入されます。

## 観音寺市の家計簿

# 平成29年度の決算

平成29年度の決算をお知らせします。一般会計、各特別会計ともに実質収支は黒字決算となりました。決算については、市ホームページ（市政情報→行財政→財政状況）で、決算書は、市役所総合案内所や大野原支所、豊浜支所で閲覧できます。

問 総務課 財政係 ☎ 23-3900

### 一般会計

#### 歳入、歳出ともに減少

平成29年度の一般会計歳入決算額は256億5,449万円（前年度比13.3%減）で、歳出決算額は246億7,343万円（前年度比14.3%減）でした。歳入歳出の差引額は9億8,106万円で、翌年度へ繰り越した事業の財源1億306万円を除いた実質収支は8億7,800万円の黒字でした。

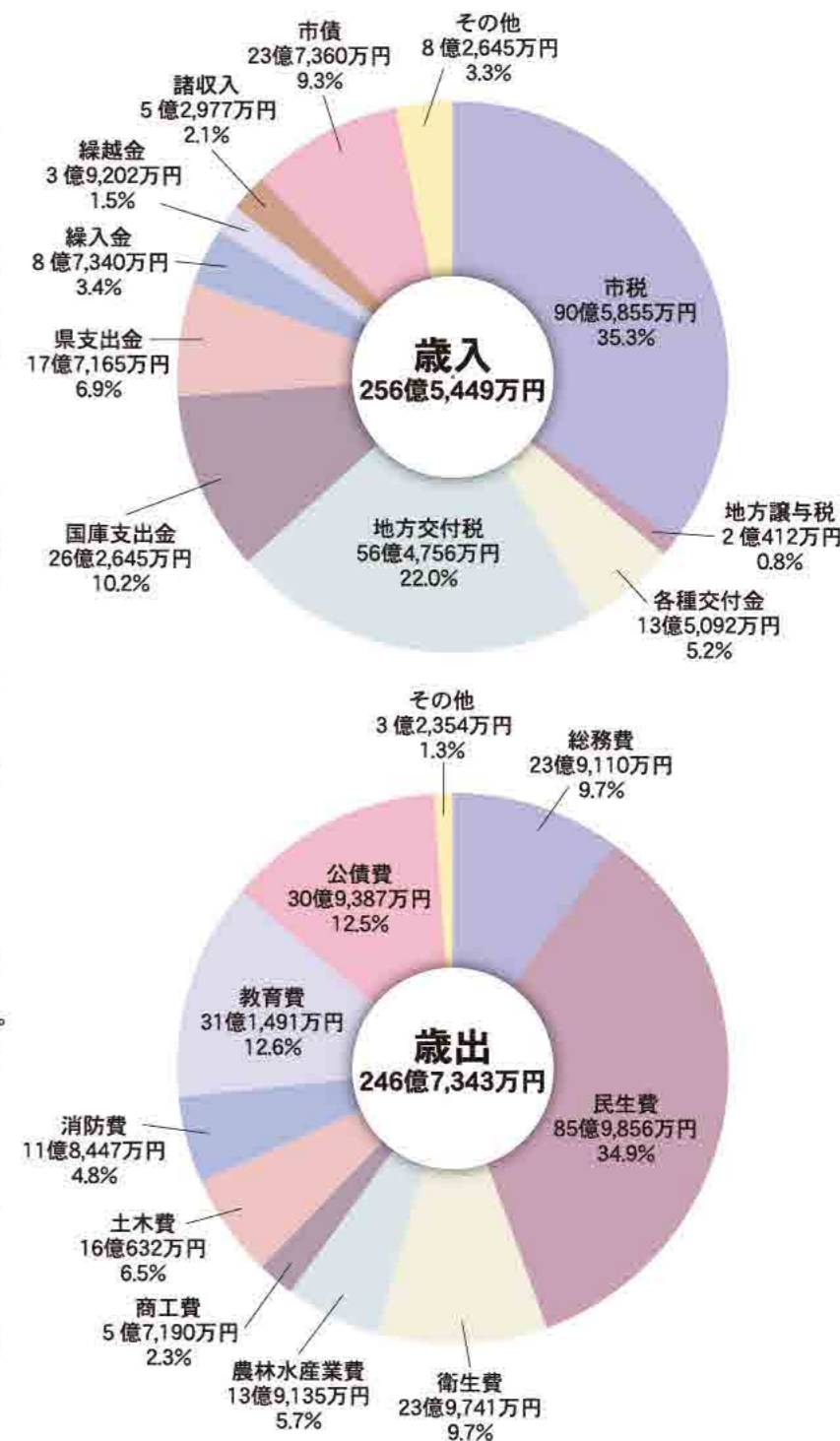
歳入では、3割以上を占める市税で、市民税の収入が増加したことにより、前年度と比較して4億2,124万円増加しました。

一方で、地方交付税が前年度と比較して3億1,789万円減少し、市債も市民会館建設事業完了などに伴い、28億1,860万円減少しました。

歳出は、教育費で市民会館建設事業が完了したことから、43億9,821万円減少しました。

平成29年度の主な事業は、4ページに掲載しています。

今後も、健全な財政運営を維持するため、限られた財源を重点的かつ効率的に運用することに努めていきます。





# 水道事業の決算

問 香川県広域水道企業団観音寺事務所 ☎ 25-5212

## 公営企業会計(水道事業)



収入		
給水収益	13億8,920万円	91.1%
受託工事収益	1,295万円	0.9%
分担金・その他	1億2,260万円	8.0%
<b>合計</b>	<b>15億2,475万円</b>	<b>100.0%</b>
支出		
人件費	1億1,920万円	9.4%
物件費	2億9,811万円	23.5%
動力費	4,404万円	3.5%
薬品費	469万円	0.4%
受水費	3億4,947万円	27.6%
減価償却費	3億7,802万円	29.8%
資産減耗費	2,568万円	2.0%
支払利息	3,211万円	2.5%
その他	1,669万円	1.3%
<b>合計</b>	<b>12億6,801万円</b>	<b>100.0%</b>

### ●平成29年度末の状況

給水人口 6万374人  
 給水戸数 2万4,641戸  
 普及率 99.23%  
 年間総配水量 795万7,151立方メートル  
 一日平均配水量 2万1,800立方メートル  
 年間有収水量 712万9,754立方メートル  
 一日平均有収水量 1万9,534立方メートル

### ●香川用水の受水状況

年間受水量 515万9,329立方メートル  
 一日平均受水量 1万4,135立方メートル  
 ※これは、総配水量の64.84%にあたります。

平成29年度も水道施設の耐震化や老朽施設・設備の更新に取り組みました。また、平成30年度からは、さらに効率的な事業運営および安定した水の供給を目指し、「香川県広域水道企業団」として事業を行っています。

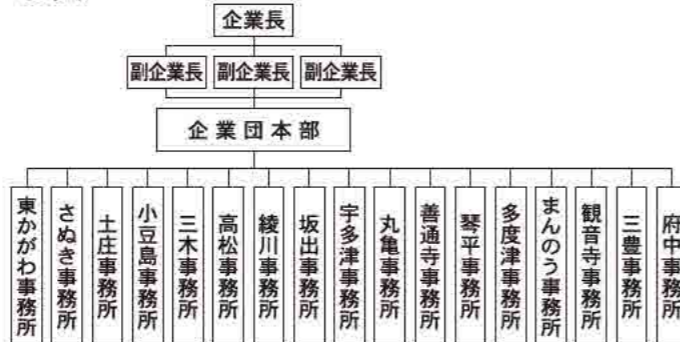
## 香川県広域水道企業団について

水道事業は平成30年4月1日から香川県と県内8市8町(直島町を除く)の水道事業と統合され、「香川県広域水道企業団」として水道事業を開始しています。

人口減少に伴う水道料金収入の減少や、施設の老朽化の進行、近い将来発生が予測される南海トラフを震源とする大規模地震などの災害や濁水への備えなど、県内水道事業は大きな課題を抱えています。

単独の自治体では解決が困難な課題に対応するために、広域化により経営基盤の充実・強化を図っていきます。

企業団本部は高松市防災合同庁舎6階に、観音寺事務所は観音寺市役所3階にそれぞれ設置されています。



## 貸借対照表

(平成30.3.31現在)

資産の部			
資産の部	・固定資産	(1) 有形固定資産	87億9,197万円
		(2) 無形固定資産	1億5,071万円
	固定資産合計		89億4,268万円
	・流動資産	(1) 現金及び預金	21億7,703万円
		(2) 貯蔵品	1,047万円
(3) その他流動資産		1億5,946万円	
流動資産合計		23億4,696万円	
資産合計		112億8,964万円	
負債の部			
負債の部	・固定負債	(1) 企業債	14億9,805万円
		(2) 引当金	3億1,653万円
	固定負債合計		18億1,458万円
	・流動負債	(1) 未払金	2億 12万円
		(2) 預り金等	2億 357万円
流動負債合計		4億 369万円	
負債合計		30億2,849万円	
資本の部			
資本の部	・資本金	(1) 自己資本金	63億9,807万円
		資本金合計	
	・剰余金	(1) 資本剰余金	6,338万円
		(2) 利益剰余金	17億9,970万円
	剰余金合計		18億6,308万円
資本合計		82億6,115万円	
負債資本合計		112億8,964万円	

### ●主な建設改良工事

市道栗井駅南線配水管布設  
 県道込野観音寺線配水管布設  
 国道11号(植田地区)老朽配水管更新  
 市道早本小学校線老朽配水管更新

## 健全化判断比率・資金不足比率

### 健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、平成29年度決算における観音寺市の財政状況を判断する各比率です。これらの比率が基準値を上回ると財政の健全化に向けた改善措置が義務付けられます。

平成29年度決算において、いずれも基準値を下回っています。

健全化判断比率	平成28年度決算	平成29年度決算	早期健全化基準(黄信号)	財政再生基準(赤信号)
実質赤字比率 (一般会計等の赤字の程度をみる指標)	—	—	12.72	20.00
連結実質赤字比率 (一般会計等及び公営企業会計を含めた市全体の赤字の程度をみる指標)	—	—	17.72	30.00
実質公債費比率 (市全体及び一部事務組合を含めた公債費(借入金)の支払いの標準財政規模に対する割合をみる指標)	9.7	9.4	25.0	35.0
将来負担比率 (市全体、一部事務組合、公社・出資法人などを含めた将来的な負担の標準財政規模に対する割合をみる指標)	77.9	77.1	350.0	

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字のため、「—」と表示しています。

### 資金不足比率

資金不足比率とは、各公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する割合をみる指標です。平成29年度決算における比率は、いずれも基準値を下回っています。

特別会計の名称	平成28年度決算	平成29年度決算	経営健全化基準
水道事業	—	—	20.0
航路事業	—	—	
公共下水道事業	—	—	
農業集落排水事業	—	—	

※資金不足比率は、全会計とも資金不足額がないため、「—」と表示しています。

## 平成29年度 of 主な事業

平成29年度は、これまでのまちづくりを礎とし、持続可能な強い観音寺市の実現に向け、3つの重点施策に取り組みました。



重点施策①『にぎわいあふれるまちの創生』	
観音寺市民会館開館記念事業	6,272万円
スマートインターチェンジ整備事業	427万円
中央七間橋線改築事業(七間橋工区)	860万円
のりあいバス運行事業	6,580万円
観音寺市ふるさと学芸館開設事業	4,552万円
公衆無線LAN整備事業	105万円
重点施策②『笑顔で子育てができるまちの創生』	
子ども医療費助成事業	2億5,130万円
民間保育施設運営補助事業	10億1,094万円
子育て支援施設整備事業	3,016万円
南部地区幼稚園建設事業(観音寺中央幼稚園)	1億5,543万円
放課後児童健全育成事業	5,878万円
重点施策③『安心して住み続けられるまち、帰ってきたいまちの創生』	
中小企業振興事業	423万円
同報系デジタル無線整備事業	2億4,978万円
空き家対策事業	2,395万円
伊吹地域漁港整備事業(特定)	3億8,057万円
移住定住促進事業	797万円
新規就農者活動支援事業	377万円